

Melodías Latinas

ラテンのしらべ

日時

2025.

11.9 Sun.
Start 14:00
Open 13:30

会場

横浜市港北区民文化センター
ミズキーホール
5th Floor

料金 (全席自由)

一般	2,500
U-25	1,000

Llorando se Fue

泣きながら

Cerezo Rosa

セレス・ローサ

El Cóndor Pasa

コンドルは飛んでゆく

and more...!

チケット
ぴあ



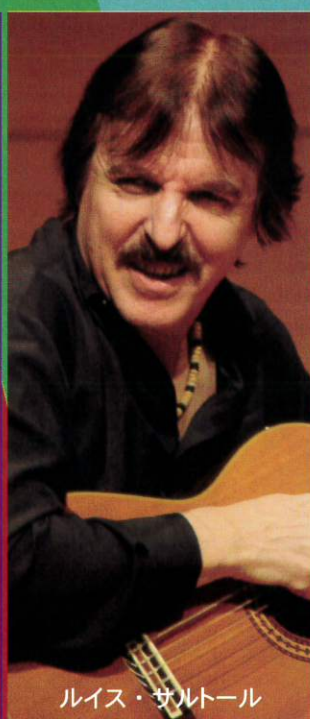
ミズキーホール窓口
チケットぴあにて
好評発売中！
Pコード 299-506



イリチ・モンテシーノス



峰岸 桂子



ルイス・サルトル



福島 久雄

主催
お問合せ



ミズキーホール

横浜市港北区民文化センター

横浜市港北区綱島東 1-9-10 新綱島スクエア 4 階
Tel : 045-533-2360 Mail : mizkie-info@sk-ims.com
開館時間 9:00 ~ 22:00 毎月第 3 火曜日休館



Profile

峰岸 桂子 Keiko Minegishi / Alpa

国立音大教育音楽科卒

在学中のゼミは民族音楽学を専攻、それとは別にフランス音楽、コンテンポラリーミュージックのサークルを立ち上げ、クラシック音楽に偏らず幅広い音楽経験を重ねる。

大学卒業後は横浜と名古屋で音楽教室を開き、ピアノ、声楽、音楽理論、ソルフェージュを指導。

1996年にアルパに出会いラテン音楽をはじめ、トリオ・ロス・デルフィネスのリーダー、チューチョ・デ・メヒコ氏に師事。師からはメキシコのみならず広くラテン音楽とそのサポール(味わい)を学ぶ。

1998年より東京、横浜、名古屋を中心にアルパの演奏活動をはじめ。ホールでのコンサートを中心に、ホテル、レストランなどでのディナーコンサートやラウンジ演奏に多数出演。

2002年より、横浜、名古屋などでアルパ教室を主宰、後進の指導に当たる。

この頃になると、ラテン以外の共演者も増え、アジアの音楽やヨーロッパの古楽器との共演、実験音楽、環境音楽など、演奏活動が多岐にわたるようになる。

2004年、2005年とパラグアイに渡り、マルティン・ボルティエジョに師事。レパートリー、テクニクの幅を広げる。

2006年、テレビ朝日系で全国に放映された野坂昭如原作「戦争童話集」アニメ「焼け跡のお菓子の木」の効果音楽を担当。

2008年、メキシコのアルパ・ハローチャの大家、アルベルト・デ・ラ・ロサに師事。

近年はこれまで培ってきた多彩な音楽経験を生かし、ジャンルを超えた強者揃いの共演者らとともに、ラテンらしさと自由な発想を兼ね備えた演奏を目指し、日々進化を遂げる。

ルイス・サルトル Luis Sartor / Charango, Guitar

1952年、アルゼンチン共和国サンタ・フェ州生まれ。

1978年、ケーナの巨匠アントニオ・パントーハの日本ツアーのメンバーとして来日後、1985年から活動の拠点を日本に移し、以来ラテン音楽の魅力を日本に広めるべく活躍。

マンドリン、チャランゴ、ギター、キーボード、パーカッションを自由自在に操り、またシンガー・ソング・ライターとしても多彩な才能を発揮。

桑田佳祐が監督を務めた映画「稲村ジェーン」のサウンドトラックや、95年にグラミー賞「ベスト・ラテン・アルバム」にノミネートされたオルケスタ・デ・ラ・ルス・アルバム「ラ・アベントウラ」に楽曲を提供。

2002年、「FIFAワールド・カップ」でサッカー日本代表に送る応援ソングを作曲し、「VIVA日本」をリリース。

音楽活動の傍ら、Inter FM(76.1MHz)のDJ、CMのナレーション、スペイン語翻訳など幅広く活躍。著書に、画期的なチャランゴ教則本「チャランゴ・マスター」がある。

2007年には、株式会社コナミデジタルエンタテインメントより発売された「ワールドサッカーウィニングイレブン 2008」で使用された音楽の作曲、編曲、プロデュースを担当。

2013年より拠点をアルゼンチンに戻し、チャランゴのスペシャリストとして活躍。

近年は故郷の先住民モコビ族の誇りと権利を取り戻すための活動に力を注ぐ。

福島 久雄 Hisao Fukushima / Guitar

<https://gypsyswghomepage.jimdo.com/>

'88年、東京ホットクラブバンドに参加。フランス・ツアーでジャンゴ・ラインハルト・フェスティバルに参加する。'99年、サラエボで開かれた Jazz fest Sarajevo'99 に出演。'01年、オスロで開かれた "Django Reinhardt festival" に出演。'07年、Gypsy Jazz Festival New Caledonia に出演。Gypsy swing project でアルバム「De quel pays etes vous?」(Capivara)、自己のカルテットでアルバム「European dark sky」(Ohrai Records)を発表。現在は、松本健一(sax)との漂流(さすらい) duo ライブや山田晃士&流浪の朝謡等で活動中。ノスタルジックなジプシー・スィング・ジャズからモダン・ジャズ、フリー、アーヴァンギャルド、民族音楽、等の境界を超えたインプロヴァイズド・ミュージックを目指す。

イリチ・モンテシーノス

Ilich Montesinos / Quena, Zampona

南米ペルー・アヤクチュョ県で生まれる。6歳の頃、首都リマに家族と共に移り住む。

高校卒業後、フォルクローレ国立大学で本格的に民族音楽を学ぶ。在学中からプログループ「インカメリカ」に所属し、国内コンテスト第2位を獲得。その後、国内外で幅広い音楽活動始める。1994年初来日。1996年より活動拠点を日本に置く。ライブ活動の他にも、CD制作・TV・ラジオ出演・楽器指導等、日本各地においても多岐にわたる活動を展開。

ケーナを主体に・サンボニーヤ・ギター・チャランゴ・バンドゥーリヤ・ヴァイオリン・ボンボ・サックス・オカリナまで、オールラウンドプレイヤーでもある。

・「ファイナルファンタジーVIマヤの民」収録(1994)

・NHK「ジュニアスペシャル四大文明第5章」出演(2005)

・国立科学博物館「インカ・マヤ・アステカ展」音楽イベント(2007)

・ヒルトン東京ペルーフェアイベント6年連続出演(2008~2014)

・第62回NHK紅白歌会談 氷川きよしさん「情熱のマリアッチ」バックパフォーマンス出演(2011)

・NHK地球ラジオ出演(2012)

・宗次郎さん「オカリナの森II」レコーディング[風のひびき](2013)

・「宗次郎オカリナ生活40周年記念コンサート2015」伴奏メンバー(2015)

草川 輝 (賛助出演) Hikaru Kusagawa / Zampona

2015年、名古屋大学フォルクローレ同好会にてサンボニーヤに出会う。2019年、当同好会のメンバーと『世逃げ隊』を結成。以来名古屋を拠点に数多くの演奏活動を行ってきた。2019年、就職を機に上京し、演奏活動エリアを広げる。ラテンアメリカフェスティバル・名古屋フォルクローレフェスティバル・コスキンエンハボンなどに参加。

ヨノセコ (賛助出演) Yonoseko / Quena

2005年、名古屋大学フォルクローレ同好会に入学しケーナと出会う。卒業後に上京し、フォルクローレ愛好家やダンサー、またJPOPのシンガーソングライターなど多様なジャンルのアーティストと共演。現在は東京のライブハウス名古屋の音楽イベントを中心に演奏活動中。

コスキン・エン・ハボン・蒲田行進曲フェスタ絆、名古屋フォルクローレフェスティバルなどに参加。



ミズキーホール窓口
チケットぴあにて
好評発売中!
Pコード 299-506

〒223-0052

横浜市港北区綱島東 1-9-10 新綱島スクエア 4.5 階

Tel: 045-533-2360 Fax: 045-533-2350

Mail: mizkie-info@sk-ims.com

Web: www.mizkie-hall.com

開館時間: 9:00 ~ 22:00 (受付は 21:00 まで)

休館日: 毎月第3火曜日 (祝日の場合はその翌日)

年末年始 (12月29日~1月3日)

指定管理者: 港北結マネジメント

